

国際シンポジウム 『アニメとジェンダー』

趣旨

本シンポジウムは、北米および日本においてジェンダーの視点からアニメ研究を先導してきた4名の研究者を招聘し、「アニメとジェンダー」を主題に講演していただく。各研究者が培ってきた理論的・方法論的知見を共有することを通じて、アニメにおけるジェンダー表象およびその受容を多角的に捉え直し、当該分野の議論をさらに深化させることを目的とする。

日時・場所

- 日時：2026年5月9日（土）13:30～16:40
 - 場所：小樽商科大学 3号館 105教室
-

講演スケジュール（予定）

時間 内容

13:30～

13:40 開会挨拶

Sharalyn Orbaugh(UBC)

13:40～ “Gendered Violence in Japanese Popular Culture: The Challenges of Teaching Anime in
14:20 Canada”（日本のポピュラーカルチャーにおけるジェンダー化された暴力:カナダにおけるアニメ教育の課題）

14:20～

14:30 質疑応答

須川亜紀子(横浜国立大学)

14:30～ 「白・魔法少女と黒・魔法少女の表象—魔法少女アニメにおける少女性」

15:00 (Representations of White Magical Girls and Black Magical Girls: “Shojo-ness” or
Girlhood in Magical Girl Anime)

15:00～

15:10 質疑応答

川口茂雄(上智大学)

15:10～ “Female Soldiers, Perfectly Merit-Based Society, and the ‘Male Problems’:

15:40 Viewing Episode 1 of “The Saga of Tanya the Evil”

(女性兵士、完全な能力主義社会、そして「男性の問題」:『幼女戦記』第1話を読む)

15:40～

15:50 質疑応答 (10分)

15:50～ 石田美紀(新潟大学)

16:20 “Reflection on the Anime *Free!* Through the Perspective of Depopulation and Spring of
Life” (過疎と青春—『Free!』)

時間 内容

16:20 ~
16:30 質疑応答 (10分)

16:30~
16:40 閉会

・講演は英語または日本語のいずれか ・スライドは 日本語・英語併記

参加対象

- ・ 本学の正規授業「日本文化」の履修生及びジェンダーやアニメに興味のある学生
 - ・ 日本アニメーション学会会員及び研究者
 - ・ 一般の方 (アニメやジェンダーに関心のある方ならどなたでも)
-

オーガナイザー (司会) : 小樽商科大学 言語センター准教授 大澤 幸

アクセス

詳細はこちらをご覧ください。

(<https://www.otaru-uc.ac.jp/access/>)

小樽駅から小樽商科大へのアクセス

5月9日は土曜日のため、バスの本数がほとんどありません。ご注意ください。

13時15分小樽駅発「**小樽商大前行き(19系統)**」にご乗車ください。

講演の要旨 (英語での発表は要旨を英語、日本語での発表は要旨を日本語で記載しています。)

シャラリン・オルバー (ブリティッシュ・コロンビア大学アジア学部 教授)

Gendered Violence in Japanese Popular Culture: The Challenges of Teaching Anime in Canada

In 2021 I published an essay in *The Japanese Journal of Animation Studies* titled “Teaching Anime and Manga in Canada: LGBTQ challenges.” The essay explored reasons why Canadian students find depictions of non-normative sex, gender, and sexuality in Japanese anime to be disturbing, as well as the difficulties of finding the proper English translations for various queer identities seen in manga and anime. This talk will build on the issues raised in that essay, with new examples of the challenges of trying to talk about gender and sexuality across cultural, linguistic, and juridical borders, and the ways Japanese depictions of queer identities can be perceived as violence by Canadian students.

須川亜紀子（横浜国立大学大学院都市イノベーション学府 建築都市文化専攻 教授）

白・魔法少女と黒・魔法少女の表象—魔法少女アニメにおける“少女性”

魔法少女アニメとは、広義では魔法を使う少女が主人公のアニメ作品一般を指し、狭義では魔法の変身（コスチュームチェンジ）や魔法の力で戦う少女（戦闘魔法少女）を指すこともある。約60年の歴史がある一大ジャンルで、世界各国に影響を与えている。『魔法使いサリー』（1966-68）を皮切りに東映動画（現・東映アニメーション）制作の「白・魔法少女」アニメが先行する一方、『魔法少女まどか☆マギカ』（2011）など深夜枠に放映された「黒・魔法少女」アニメは、多くのティーンに受容された。本発表では、日本のジェンダー規範の交渉と挑戦の場として魔法少女アニメにおける「少女性」を論じる。

川口 茂雄（上智大学文学部哲学科 教授）

Female Soldiers, Perfectly Merit-Based Society, and the 'Male Problems': Viewing Episode 1 of *The Saga of Tanya the Evil*

It is generally considered a positive development from a gender perspective when the number of female employees increases in workplaces traditionally dominated by men. But what about the military?

Even in Picasso's abstract painting *Guernica*, we can observe a gendered configuration in which the binary opposition of "front lines/home front" corresponds to "men/women." On the other hand, in the 2011 Japanese anime masterpiece *Puella Magi Madoka Magica*, the protagonist lives in a household with a "stay-at-home dad," and it is only women who fight dangerous battles on the front lines. Furthermore, the 2017 series *The Saga of Tanya the Evil* depicts a wartime society where military mobilization extends regardless of age or gender.

Is the presence of female soldiers a symbol of gender equality? Or does the militarization of women equate to their masculinization? The answer is likely not a single-layered one.

石田美紀（新潟大学大学院総合学術研究科 教授）

過疎と青春—『Free!』

青春を謳歌する高校生たちの群像劇はアニメが得意とするジャンルであり、これまで無数の作品が製作されてきた。2013年から放送が開始されたテレビアニメ『Free!』もその一つである。女性視聴者から熱狂的な支持を取り付けて大ヒットを記録したこの作品は、アニメとジェンダーの関係を考える上で無視できない作品である。競泳に打ち込む男子高校生たちの友情を語るこの物語では、水着姿の彼らの身体描写が見どころの一つとなっているため、ジェンダー研究が指摘する見る男性と見られる女性という視線の力学は逆転している。この見る女性の視点には、舞台となった鳥取県岩美町を訪れる観光客の視点が重ね合わされている。本発表では、海辺の小さな町の青春物語を作り上げる視線の力学を分析し、アニメが描く美しい青春と現実における過疎化との関係を考察する。
